

II 建築学科

1 教育研究上の目的

建築学に関する幅広い知識と、専門性の高い技術、さらに創造力豊かな芸術性を修得して、広く地域社会に通用する協調性のある人間性を身に付けるとともに、建築が果たすべき社会的使命としての倫理観や責任感を持った、実践力や指導力のある建築技術者、建築士、デザイナー、研究者、公務員、教員などの人材を養成する。

2 教育目標

建築学科の教育目標は、建築実務に必要な「建築士」としての資質を養うことです。そのために、導入科目として建築設計製図、建築概論、建築史、建築構法及び情報処理演習を、基礎的な科目として応用力学、構造力学、建築施工、建築材料学、建築設備、住宅計画、都市計画等、このほか演習科目として建築実験及び建築設計を設置しています。

さらに、建築学は学際的で様々な学問領域を包含していることから、建築学科では「構造・材料系」及び「計画・環境系」の2つの系を設置し、3年次生以降においては、各系特有の科目構成としています。

3 系の特徴

(1) 構造・材料系

建築学の中で、構造・材料・施工などの科目を中心に修得します。応用力学・構造力学・建築材料学・建築施工等を修得し、木質構造・鉄筋コンクリート構造・鋼構造等の構造種別による設計法を学び、これらのまとめとして建築設計を履修します。

(2) 計画・環境系

建築学の中で、計画・環境・設備・意匠などの科目を中心に修得します。住宅計画・建築計画・都市計画・建築環境工学・建築設備・インテリアデザイン等を学びながら、建築設計演習を継続して修得し、これらのまとめとして建築設計を履修します。

4 履修にあたって

導入科目の履修を通じて、建築学の学問体系を把握するとともに、各系の特徴を充分理解し、建築学科卒業後の進路も考慮した上で、系を選択することが重要です。また、建築学は様々な学問領域を有していることから、できるだけ多くの科目を履修することが大切です。

なお、どちらの系を選択しても、建築学科を卒業すると、「一級建築士の受験資格要件」を満たすことができます。

建築学科 構造・材料系

卒業要件

卒業するには、次の条件を含めて、**127単位以上**を修得しなければならない。

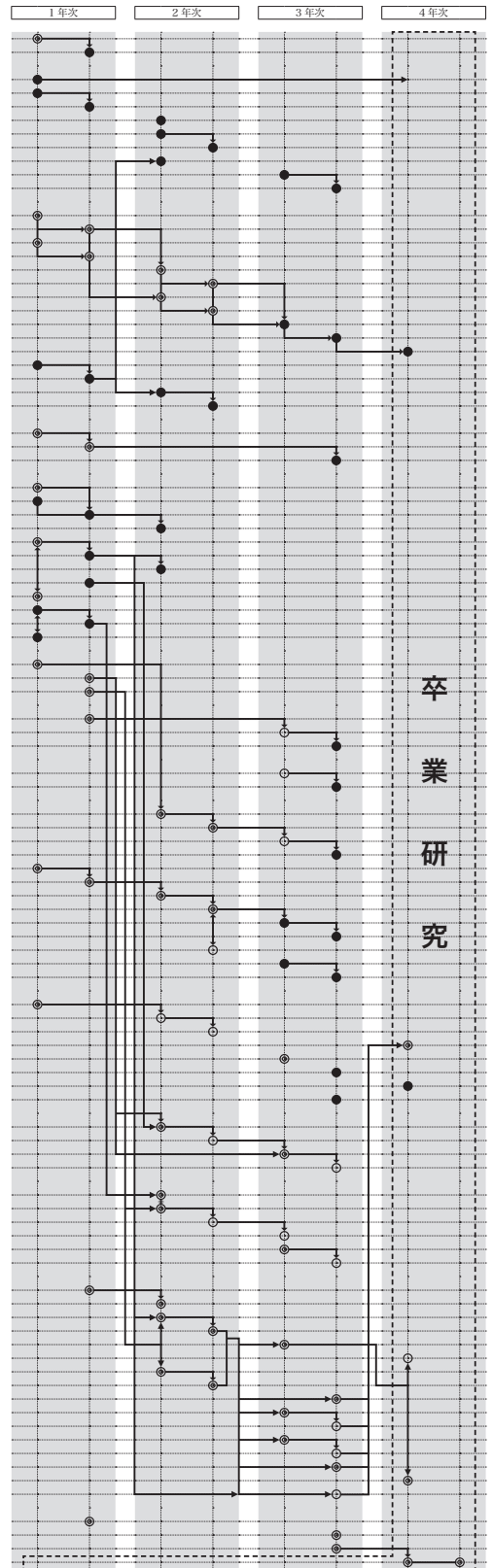
- 【全学共通教育科目】** 必修科目（1科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【教養科目】** 4科目**8単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は外国人留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】** 必修科目（8科目8単位）を含めて、**8単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は外国人留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】** 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】** 必修科目（3科目7単位）を含めて、**11単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】**
- (1) 専門共通科目（4科目）**12単位**を修得しなければならない。
 - (2) 必修科目（30科目）**62単位**を修得しなければならない。ただし、
 - ・必修科目①の25科目**51単位**を修得しなければならない。
 - ・必修科目②(系必修科目)の5科目**11単位**を修得しなければならない。
 - (3) 選択必修科目（系選択必修科目）のうちから7科目**14単位以上**を修得しなければならない。
 - (4) 上記の専門共通科目、必修科目及び選択必修科目を含めて合計**88単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】** 全学共通教育科目、教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**8単位以上**を修得しなければならない。

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
全学共通教育科目	必修	自主創造の基礎 (2)			
	選択	日本を考える (2)			
教養科目	選択	日本語表現法 (2)	日本国憲法 (2)	哲学Ⅰ (2)	
		心理学Ⅰ (2)	経済学Ⅰ (2)	哲学Ⅱ (2)	
		心理学Ⅱ (2)	経済学Ⅱ (2)		
			日本の文化 (2)		
外国語科目	必修	英語AⅠ (1)	英語AⅢ (1)		
		英語AⅡ (1)	英語AⅣ (1)		
		英語BⅠ (1)	英語BⅢ (1)		
		英語BⅡ (1)	英語BⅣ (1)		
	選択	基礎日本語Ⅰ (1)	日本語講読Ⅰ (1)	英語CⅠ (1)	技術英語 (1)
		基礎日本語Ⅱ (1)	日本語講読Ⅱ (1)	英語CⅡ (1)	
体育科目	必修	体育・スポーツⅠ (1)			
	選択	体育・スポーツⅡ (1)		健康・スポーツ概論 (2)	
自然科学科目	必修	工科系数学Ⅰ及び演習 (3)			
		物理学Ⅰ (2)			
		物理学実験及び演習 (2)			
	選択	工科系数学Ⅱ (2)	工科系数学Ⅳ (2)		
		工科系数学Ⅲ (2)	物理学Ⅲ (2)		
		物理学Ⅱ (2)			
		物理学Ⅳ (2)			
		化学Ⅰ (2)			
化学Ⅱ (2)					
化学実験及び演習 (2)					
専門教育科目	専門共通科目	ロハス工学入門 (2)		ゼミナール (2)	卒業研究 (6)
				技術者倫理 (2)	
	必修①	建築計画概論 (2)	住宅計画 (2)	建築設備Ⅰ (2)	建築設計 (2)
		建築設計製図Ⅰ (2)	建築計画Ⅰ (2)	建築施工Ⅰ (2)	建築実験 (1)
		建築設計製図Ⅱ (2)	建築設計演習Ⅰ (2)	建築関連法規 (2)	
		西洋建築史 (2)	建築設計演習Ⅱ (2)		
		建築環境・設備概論 (2)	建築環境工学Ⅰ (2)		
		建築構造・材料概論 (2)	建築構法Ⅱ (2)		
		建築構法Ⅰ (2)	構造力学Ⅰ及び演習 (3)		
		建築情報処理演習Ⅰ (1)	構造力学Ⅱ及び演習 (3)		
		応用力学Ⅰ及び演習 (3)			
		応用力学Ⅱ及び演習 (3)			
		建築材料実験 (1)			
		建築材料科学Ⅰ (2)			
	必修②			構造力学Ⅲ及び演習 (3)	
				木質構造設計法 (2)	
				鉄筋コンクリート構造 (2)	
				鋼構造 (2)	
	選択必修		建築造形演習 (2)	建築計画Ⅱ (2)	構造力学Ⅳ (2)
			建築環境工学Ⅱ (2)	都市計画Ⅰ (2)	
		建築材料科学Ⅱ (2)	日本建築史 (2)		
		建築情報処理演習Ⅱ (2)	建築設備Ⅱ (2)		
		建築情報処理演習Ⅲ (2)	鉄筋コンクリート構造設計法 (2)		
			鋼構造設計法 (2)		
			建築振動学 (2)		
			建築材料科学 (2)		
		建築施工Ⅱ (2)			
選択			福祉環境学 (2)	特別講義 (2)	
			建築設計演習Ⅲ (2)		
			建築設計演習Ⅳ (2)		
			インテリアデザイン (2)		
			人間環境デザイン工学 (2)		
			都市計画Ⅱ (2)		
		近代建築史 (2)			
		建築企画 (2)			
		インターンシップ (2)			

教育研究上の目的

建築学に関する幅広い知識と、専門性の高い技術、さらに創造力豊かな芸術性を修得して、広く地域社会に通用する協調性のある人間性を身に付けるとともに、建築が果たすべき社会的使命としての倫理観や責任感を持った、実践力や指導力のある建築技術者、建築士、デザイナー、研究者、公務員、教員などの人材を養成する。

群(系)	科目名	卒業の認定に関する方針(DP)及び教育課程の編成及び実施に関する方針(CP)との対応 DP-1-CP-1 DP-2-CP-2 DP-3-CP-3 DP-4-CP-4 DP-5-CP-5 DP-6-CP-6 DP-7-CP-7 DP-8-CP-8							
全学共通 教育科目	自主創造の基礎	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本を考える	○	○	○	○	○	○	○	○
教育科目	日本語表現法	○							
	心理学 I	○							
	心理学 II	○							
	日本国憲法	○							
	経済学 I	○							
	経済学 II	○							
	日本の文化	○	○						
	哲学	○							
	哲学 II	○							
	外国語科目	英語 A I	○						
英語 A II		○							
英語 B I		○							
英語 B II		○							
英語 A III		○							
英語 A IV		○							
英語 B III		○							
英語 B IV		○							
英語 C I		○							
英語 C II		○							
技術英語		○							
基礎日本語 I						○			
基礎日本語 II					○				
日本語講読 I					○				
日本語講読 II					○				
体育科目	体育・スポーツ I							○	
	体育・スポーツ II							○	
	健康・スポーツ概論	○							
自然科学科目	工系数学 I 及び演習			○					
	工系数学 II			○					
	工系数学 III			○					
	工系数学 IV			○					
	物理学 I			○					
	物理学 II			○					
	物理学 III			○					
	物理学 IV			○					
	物理学実験及び演習			○			○		
	化学 I			○					
	化学 II			○					
	化学実験及び演習	○							○
建築概論	建築計画概論								
	建築環境・設備概論								
	建築構造・材料概論								
建築歴史・意匠	西洋建築史	○							
	○ 日本建築史 近代建築史		○						
都市計画・都市設計	○ 都市計画 I 都市計画 II		○	○					
			○	○					
建築計画・設計	住宅計画			○					
	建築計画 I			○					
	○ 建築計画 II			○					
	福祉環境学			○					
	建築設計製図 I			○					
	建築設計製図 II			○					
	建築設計演習 I			○					
	建築設計演習 II			○					
	建築設計演習 III			○					
	建築設計演習 IV			○					
	○ 建築造形演習 インテリアデザイン 人間環境デザイン工学			○					○
				○					
応用及び工学院領域	建築情報処理演習 I								
	○ 建築情報処理演習 II ○ 建築情報処理演習 III								
	建築実験	○							
	建築関連法規	○							
	建築企画						○		
	特別講義						○		
	インターンシップ						○		○
建築環境・設備	建築環境工学 I								
	○ 建築環境工学 II 建築設備 I ○ 建築設備 II								
建築材料・施工	建築材料実験								
	建築材料学 I								
	○ 建築材料学 II ○ 建築材料科学 ○ 建築施工 I ○ 建築施工 II								
建築構造	建築構法 I								
	建築構法 II								
	構造力学 I 及び演習								
	構造力学 II 及び演習								
	○ 構造力学 III 及び演習 ○ 構造力学 IV								
	応用力学 I 及び演習								
	応用力学 II 及び演習								
	木質構造設計法								
	鉄筋コンクリート構造								
	○ 鉄筋コンクリート構造設計法								
	鋼構造								
	○ 鋼構造設計法 建築基礎構造 建築設計 ○ 建築振動学								
専門共通	ロハス工学入門								
	技術者倫理								
	ゼミナール								
	卒業研究								



DP-1-CP-1: 前年の追加・教養を主に論理力を高めることができる。
 DP-2-CP-2: 世界情勢や発展し、国際社会が直面している問題を説明することができる。
 DP-3-CP-3: 得た情報を元に論理的な思考、批判的な見方をすることができる。
 DP-4-CP-4: 事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。
 DP-5-CP-5: あるものない気持ちで新しいことに挑戦に挑戦することができる。
 DP-6-CP-6: 自身の意見を軸として問題を、自分の考えを伝えることができる。
 DP-7-CP-7: 複数の立場で議論しながら、論議者の立場を把握し、その立場を支持することができる。
 DP-8-CP-8: 課題に自らを見つめ、振り返りを通じて自らを高めることができる。

○ 必修科目
 ○ 選択必修科目
 ● 選択科目

建築学科 計画・環境系

卒業要件

卒業するには、次の条件を含めて、**127単位以上**を修得しなければならない。

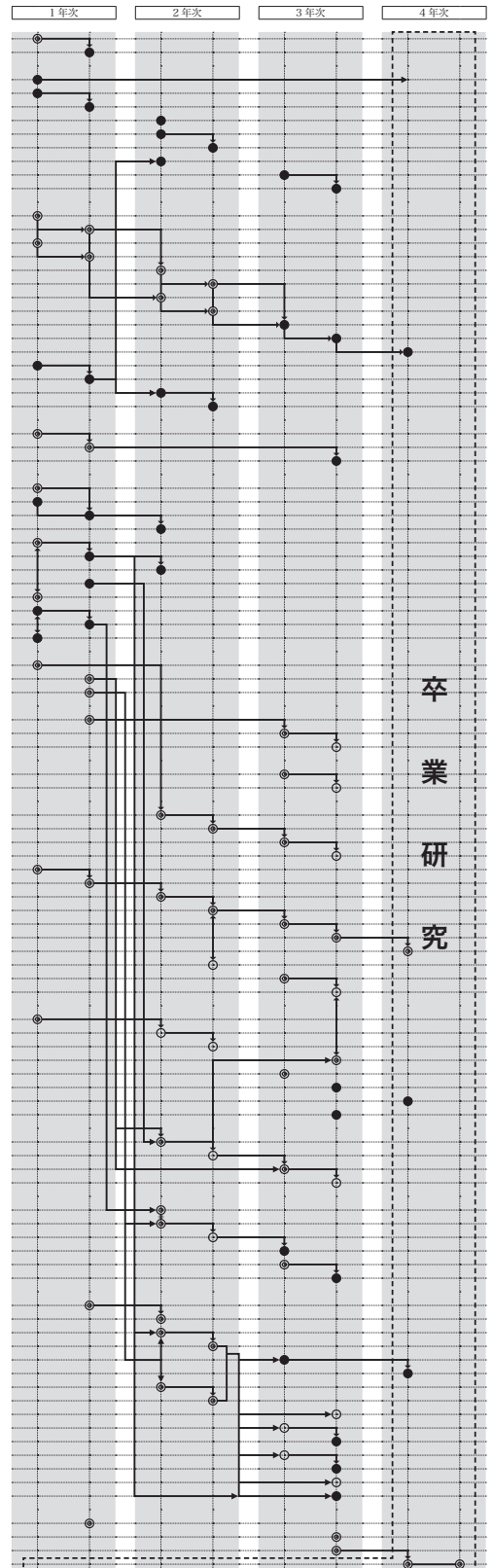
- 【全学共通教育科目】** 必修科目（1科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【教養科目】** 4科目**8単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は外国人留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】** 必修科目（8科目8単位）を含めて、**8単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は外国人留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】** 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】** 必修科目（3科目7単位）を含めて、**11単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】**
- (1) 専門共通科目（4科目）**12単位**を修得しなければならない。
 - (2) 必修科目（31科目）**63単位**を修得しなければならない。ただし、
 - ・必修科目①の25科目**51単位**を修得しなければならない。
 - ・必修科目②(系必修科目)の6科目**12単位**を修得しなければならない。
 - (3) 選択必修科目（系選択必修科目）のうちから7科目**14単位以上**を修得しなければならない。
 - (4) 上記の専門共通科目、必修科目及び選択必修科目を含めて合計**89単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】** 全学共通教育科目、教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**7単位以上**を修得しなければならない。

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
全学共通教育科目	必修	自主創造の基礎 (2)			
	選択	日本を考える (2)			
教養科目	選択	日本語表現法 (2)	日本国憲法 (2)	哲学Ⅰ (2)	
		心理学Ⅰ (2)	経済学Ⅰ (2)	哲学Ⅱ (2)	
		心理学Ⅱ (2)	経済学Ⅱ (2)		
			日本の文化 (2)		
外国語科目	必修	英語AⅠ (1)	英語AⅢ (1)		
		英語AⅡ (1)	英語AⅣ (1)		
		英語BⅠ (1)	英語BⅢ (1)		
		英語BⅡ (1)	英語BⅣ (1)		
	選択	基礎日本語Ⅰ (1)	日本語講読Ⅰ (1)	英語CⅠ (1)	技術英語 (1)
		基礎日本語Ⅱ (1)	日本語講読Ⅱ (1)	英語CⅡ (1)	
体育科目	必修	体育・スポーツⅠ (1)			
	選択	体育・スポーツⅡ (1)		健康・スポーツ概論 (2)	
自然科学科目	必修	工科系数学Ⅰ及び演習 (3)			
		物理学Ⅰ (2)			
		物理学実験及び演習 (2)			
	選択	工科系数学Ⅱ (2)	工科系数学Ⅳ (2)		
		工科系数学Ⅲ (2)	物理学Ⅲ (2)		
		物理学Ⅱ (2)			
		物理学Ⅳ (2)			
		化学Ⅰ (2)			
	化学Ⅱ (2)				
	化学実験及び演習 (2)				
専門教育科目	専門共通科目	ロハス工学入門 (2)		ゼミナール (2)	卒業研究 (6)
				技術者倫理 (2)	
	必修①	建築計画概論 (2)	住宅計画 (2)	建築設備Ⅰ (2)	建築設計 (2)
		建築設計製図Ⅰ (2)	建築計画Ⅰ (2)	建築施工Ⅰ (2)	
		建築設計製図Ⅱ (2)	建築設計演習Ⅰ (2)	建築実験 (1)	
		西洋建築史 (2)	建築設計演習Ⅱ (2)	建築関連法規 (2)	
		建築環境・設備概論 (2)	建築環境工学Ⅰ (2)		
		建築構造・材料概論 (2)	建築構造Ⅱ (2)		
		建築構法Ⅰ (2)	構造力学Ⅰ及び演習 (3)		
		建築情報処理演習Ⅰ (1)	構造力学Ⅱ及び演習 (3)		
		応用力学Ⅰ及び演習 (3)			
		応用力学Ⅱ及び演習 (3)			
		建築材料実験 (1)			
		建築材料科学Ⅰ (2)			
	必修②			建築計画Ⅱ (2)	
				建築設計演習Ⅲ (2)	
				建築設計演習Ⅳ (2)	
				インテリアデザイン (2)	
			都市計画Ⅰ (2)		
			日本建築史 (2)		
選択必修		建築造形演習 (2)	福祉環境学 (2)		
		建築環境工学Ⅱ (2)	人間環境デザイン工学 (2)		
		建築材料科学Ⅱ (2)	都市計画Ⅱ (2)		
		建築情報処理演習Ⅱ (2)	近代建築史 (2)		
		建築情報処理演習Ⅲ (2)	建築設備Ⅱ (2)		
			木質構造設計法 (2)		
			鉄筋コンクリート構造 (2)		
		鋼構造 (2)			
		建築基礎構造 (2)			
選択			構造力学Ⅲ及び演習 (3)	構造力学Ⅳ (2)	
			鉄筋コンクリート構造設計法 (2)	特別講義 (2)	
			鋼構造設計法 (2)		
			建築振動学 (2)		
			建築材料科学 (2)		
			建築施工Ⅱ (2)		
		建築企画 (2)			
			インターンシップ (2)		

教育研究上の目的

建築学に関する幅広い知識と、専門性の高い技術、さらに創造力豊かな芸術性を修得して、広く地域社会に通用する協調性のある人間性を身に付けるとともに、建築が果たすべき社会的使命としての倫理観や責任感を持った、実践力や指導力のある建築技術者、建築士、デザイナー、研究者、公務員、教員などの人材を養成する。

群(系)	科目名	卒業の認定に関する方針(DP)及び教育課程の編成及び実施に関する方針(CP)との対応 DP-1-CP-1 DP-2-CP-2 DP-3-CP-3 DP-4-CP-4 DP-5-CP-5 DP-6-CP-6 DP-7-CP-7 DP-8-CP-8
全学共通 教育科目	自主創造の基礎	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	日本を考える	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
教育科目	日本語表現法	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	心理学 I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	心理学 II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	日本国憲法	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	経済学 I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	経済学 II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	日本の文化	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	哲学 I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	哲学 II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	英語 A I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
英語 A II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
英語 B I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
英語 B II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
英語 A III	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
英語 A IV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
英語 B III	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
英語 B IV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
英語 C I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
英語 C II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
技術英語	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
基礎日本語 I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
基礎日本語 II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
日本語講読 I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
日本語講読 II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
体育科目	体育・スポーツ I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	体育・スポーツ II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	健康・スポーツ概論	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
自然科学科目	工科系数学 I 及び演習	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	工科系数学 II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	工科系数学 III	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	工科系数学 IV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	物理学 I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	物理学 II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	物理学 III	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	物理学 IV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	物理学実験及び演習	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	化学 I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	化学 II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	化学実験及び演習	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	建築概論	建築計画概論
建築環境・設備概論		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
建築構造・材料概論		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
建築歴史・意匠	西洋建築史	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	日本建築史 ○ 近代建築史	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
都市計画・都市設計	都市計画 I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	都市計画 II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
建築計画・設計	住宅計画	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	建築計画 I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	建築計画 II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	○ 福祉環境学	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	建築設計製図 I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	建築設計製図 II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	建築設計演習 I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	建築設計演習 II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	建築設計演習 III	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	建築設計演習 IV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	建築設計	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	○ 建築造形演習	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	インテリアデザイン	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	○ 人間環境デザイン工学	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	応用及び学際領域	建築情報処理演習 I
○ 建築情報処理演習 II		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○ 建築情報処理演習 III		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
建築実験 建築関連法規 建築企画 特別講義 インターンシップ		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
建築環境・設備	建築環境工学 I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	○ 建築環境工学 II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	建築設備 I ○ 建築設備 II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
建築材料・施工	建築材料実験	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	建築材料学 I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	○ 建築材料学 II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	建築材料科学 建築施工 I 建築施工 II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
建築構造	建築構法 I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	建築構法 II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	構造力学 I 及び演習	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	構造力学 II 及び演習	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	構造力学 III 及び演習	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	構造力学 IV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	応用力学 I 及び演習	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	応用力学 II 及び演習	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	○ 木質構造設計法	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	○ 鉄筋コンクリート構造	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	○ 鉄筋コンクリート構造設計法	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○ 鋼構造	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
○ 鋼構造設計法	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
○ 建築基礎構造	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
建築振動学	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
専門共通	ロハス工学入門	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	技術者倫理	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	ゼミナール	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	卒業研究	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○



DP-1-CP-1: 前記の知識・教養を基に論理力を高めることができる。
 DP-2-CP-2: 世界情勢や環境上、国際社会が直面している問題を説明することができる。
 DP-3-CP-3: 得た情報を基に論理的な思考、批判的な見方をすることができる。
 DP-4-CP-4: 事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。
 DP-5-CP-5: あるものない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。
 DP-6-CP-6: 自身の意見を軸として理解し、自分の考えを伝えることができる。
 DP-7-CP-7: 複数の立場で議論しながら、論議者の立場を把握し、その立場を支持することができる。
 DP-8-CP-8: 課題に自らを見つめ、振り返りを通じて自らを高めることができる。

- 必修科目
- 選択必修科目
- 選択科目

- 必修科目
- 選択必修科目
- 選択科目

卒業研究